

千葉知施連ニュース 第14号

千葉県知的障害者支援施設家族会連合会 <http://c-tisiren.jp>

〒289-3186 匝瑳市川辺6166 発行日：平成29年12月20日

平成29年度千葉知施連支部長会議

平成29年10月29日（日）午後1時から29年度千葉知施連支部長会議が千葉市ビジネス支援センター「きぼーる」で開催され、29支部から44名が出席しました。

最初に、会長より①顧問会議、県との懇談会、要望書②全施連の活動状況（新組織、全国大会など）PT会議提言パートⅡ活動資金募金のお願い③千葉知施連の現状と課題について報告を行いました。PT会議提言パートⅡ活動資金募金のお願いについて、募金の趣旨について詳しい説明がほしいとの質問があり、後日詳しい説明書を送付すること、期間を1月末まで延長することを提案し了承されました。

次に、6グループに分かれてグループ討議を行いました。家族会活動の現状と課題について2家族会（斉信会、千原厚生園）から報告の後、今回のテーマ「保護者の高齢化に伴う家族会の活性化と後継者対策」について討議を行いました。

家族会の活性化については、・長期間の会長を替えて、マンネリを打破する・施設を巻き込み、両輪で取り組む・兄弟姉妹の会を立ち上げることが必要・高齢化に伴い来園が難しく足の便の解決が必要・入所時に家族会に加入することを施設側からしっかりと説明してもらう・家族会の活性化とともに施設側の活性化も必要・行事を通じて保護者同士の会話を多くする など多数意見が出されました。

後継者対策については、・役員を輪番制で決める、グループに分けて輪番制で決める・役員の定年制を設け、とにかく次に引き継ぐ・現役員の使命として後継役員を引き継いでもらう人を指名し就任させる など議題が身近な問題であり、参加者は積極的に発言をしていました。ほとんどの家族会で行事の参加、環境整備、職員への慶弔など協力していました。

また、家族会の活動状況についてアンケートを実施しました。（29家族会の集計）家族会の開催状況では、ほぼ毎月開催している14施設、家族会出席状況ほぼ7割以上出席している15施設、次期会長については、何とか決まっているを含め17家族会でした。



平成 29 年度県障害福祉課との懇談会

県障害福祉課との懇談会が 9 月 12 日（火）午後 3 時半から千葉市ビジネス支援センターきぼーる会議室で開催されました。

* 出席者 （県障害福祉事業課）2 名 吉武障害福祉事業課長 板橋施設整備班班長
（千葉知施連） 8 名 奥澤 山田 市川 村上 鈴木 矢作 松永 山岸

- * 議題
1. 第五次千葉県障害者計画の進捗状況について
 - ・ 入所施設の地域移行は・施設の整備状況（防災、高齢化、環境整備）
 - ・ 人材育成、研修受講者の状況・袖ヶ浦福祉センターの現況と今後について
 2. 第六次計画に向けての課題について
 - ・ 地域移行数の目標数値の見直しは（国の指針は 2%以上と修正）
 - ・ 入所定員の拡充、入所施設の新設の考えは
 - ・ 入所施設の充実、老朽化対策（大改修・建替えに対する補助金の増額・確保）
 3. 地域移行の現状と課題について
 - ・ 地域移行＝GH の考えの見直しは（管理面の問題点、利用者の孤立、強度行動障害者の GH）
 4. 65 歳問題・介護保険優先の原則
 - ・ 自宅・GH 利用者の障害福祉サービス継続利用の条件は
 - ・ 市町村による対応の差異はあるのか
 5. 強度行動障害者支援職員の育成計画について
 - ・ 施設職員に指導できる専門指導員の養成は
 6. 成年後見制度の促進について
 - ・ 地域連携ネットワーク作り、市民後見人の研修・育成状況
 - ・ 後見制度改革、法人による成年後見の考えは

◇千葉知施連顧問との懇談会◇

顧問との懇談会が 8 月 18 日（金）午前 11 時に福祉協会事務所で開催されました。

* 出席者 （顧問）里見 小林 佐久間の 3 顧問、千日事務局長
（千葉知施連）奥澤 山田 市川 村上 鈴木 河村 松永

* 議題 県への要望事項について

1 時間あまり意見交換を行いました。その中で質問ではなく、①「要望書」を提出すべきと今後 ②入所定員の拡充・新設 ③成年後見制度の促進・法人（施設）による後見 ④医療費負担の公平化など助言をいただきました。

また、入所利用者の保護者だけでなく、入所を希望しているが入所できない多くの保護者の代弁者の役割もすれば千葉知施連はもっと発展するのではないかとの貴重な意見をいただきました。

平成 29 年度県障害福祉課への要望

平成 29 年 12 月 8 日、「すべての知的障害者の福祉向上を図り、その豊かな生活と権利を護ることにする要望書」を提出しました。

* 要 望 事 項 *

1. 入所施設の新設及び定員増加を要望します

現在当県の入所待機者は 700 名以上おります。さらに現在在宅・通所施設利用者の親・家族の高齢化による介護困難や将来の不安による入所希望、一時扱いの短期入所者の長期入所熱望、グループホーム入居者の高齢化・重度化による入所施設の必要など、現行の入所施設の新設停止、定員の削減の方針では、今後著増する入所施設必要者に対応できなくなるのではないのでしょうか。

われわれは、現在の入所利用者削減方針を変更され、入所施設の新設や現施設の員増加を要望いたします。

2. 入所施設の充実を要望します

築後 30 年経過する施設の建て替えや、耐震化や入所者の高齢化によるバリアフリー化が急がれます。国・県の補助により施設整備が充実できるように要望いたします。

また、障害福祉サービスの報酬が日中に比較して夜間の方が低い現状の改善などを要望いたします。私どもの上部団体・全施連から厚生労働省報酬改定委員会へ、24 時間切れ目のないサービスを行うため「別紙」報酬加算の意見書を提出しております。

3. 袖ヶ浦福祉センターの改革について県の強力な指導・支援を要望します

第三者委員会の中間報告に基づき支援体制の向上促進を要望致します。定員の削減については、時間をかけて推移を見守りたいと考えます。

現状の推移では計画の未達が指摘されておりますとともに、利用者への対応が不十分とされております。二度と悲惨な事件が起きることは許されず、県の強力な指導と支援を要望致します。

4. 福祉専門職員の確保対策を要望します

当県の福祉施設では職員確保に大変苦勞しています。職員確保のための支援をお願いします。合わせて強度行動障害専門職員の育成にも引き続きご努力をお願い致します。

5. すべての心身障害者に医療費助成を要望します

重度心身障害者（児）医療費助成については現在身体障害者 1 級又は 2 級、療育手帳④、A-1、A-2 を有する者が対象になっておりますが、中軽度者をも含めるようお願い致します。

第13回「全施連全国大会秋田」報告

平成29年度全施連全国大会が10月3日(火)、4日(水)の2日間秋田市で開催され、全国から405名(25都府県)が集まり千葉県から16名の参加がありました。

○大会テーマ 「新しい生活の場を語ろう」

1日目 10月3日 13:00~17:00

*開会式 来賓挨拶 秋田県知事 秋田市長ほか

*行政説明 障害保健福祉の動向 厚労省障害福祉専門官 片桐公彦氏

*全員参加型討論会 家族からの話題提供者3名

2日目 10月4日 9:00~12:00

*講演「安心、安全、快適な生活の場を考える」 全施連副理事長 南守氏

*全員参加型討論会 福祉事務所からの話題提供者3名

※ 詳細は全施連ニュースをご覧ください。

募金のお願い

全施連「新しい入所施設のあり方提言パートⅡ」活動支援500万円募金のご協力について、11月1日付けで千葉知施連支部長、家族会会長あてにお願いしておりますが、多くの方ご協力をお願いします。

募集金額 家族会当たり 1口 5000円以上 1口以上

募集期間は30年1月31日まで

研修セミナーのお知らせ

日時 平成30年3月10日(土) 13:00~17:00

場所 千葉市ビジネス支援センターきぼーる会議室

講演 1.「津久井やまゆり園」~楽しかった日々と事件後(仮題)

津久井やまゆり園保護者会会長 大月和真氏

2.「障害者施策の課題」(仮題)

神奈川施保連 嶋田芳樹氏

多数の参加をお願いします。

◆編集後記◆

千葉知施連ニュース14号を発行します。次号からは施設の紹介など紙面を充実して発行したいと思います。(岸)

